

袋井の顔づくり特別委員会

(7/17、8/25)

袋井駅周辺のまちの姿を把握することが重要であるため、駅南地区治水対策の現状等を視察しました。また、今後のまちづくりの基本である、都市計画マスタープランの見直しや中心市街地活性化基本計画の現状について報告を受けました。

◆7月17日(第2回)

<協議事項>

特別委員会の運営について

<視察箇所>

- 1 駅南地区の治水対策
- 2 駅南都市拠点土地区画整理事業
- 3 駅北商店街の空き店舗の状況等

◆8月25日(第3回)

<報告事項>

- 1 都市計画マスタープランの見直しについて
- 2 中心市街地活性化計画の状況について

総合体育館整備事業特別委員会

(7/21、8/25)

平成32年度の供用開始を目指している総合体育館の整備について、今後の取組方針を委員間で確認し、その方針に基づいて協議するとともに報告を受けました。

◆7月21日(第2回)

<報告事項>

- 1 総合体育館PFIアドバイザー業務事業者の決定について
- 2 PFIガイドラインにおける実施方針及び要求水準書について
- 3 「第3次スポーツ推進計画」の策定について

<協議事項>

総合体育館整備事業特別委員会の取組方針について

◆8月25日(第3回)

<報告事項>

第2回特別委員会における検討事項の回答について

<協議事項>

- 1 民生文教委員会の附帯決議における検討事項の整理と方針について
- 2 総合体育館整備に係る財政シミュレーションについて
- 3 袋井市スポーツ協会における現状と今後の役割分担について

建設経済委員会

●平成26年度一般会計歳入歳出決算認定 ～公園費～

Q 袋井駅南北自由通路は市道認定されており、愛野駅南北自由通路は市道認定されていないが、管理の仕方に違いがあるか。

A 橋上駅舎は、JRが管理する部分と市が管理する部分とが構造的に明確に分かれており、南北自由通路と、それに続く階段などの昇降施設、1階のトイレ、駅前広場などが市の管理の範囲である。袋井駅も愛野駅も管理の仕方に違いはなく、エレベーターやエスカレーター、火災警報器などの消防設備の維持管理のほか、清掃、警備業務などを委託している。

●平成26年度一般会計歳入歳出決算認定 ～環境衛生費～

Q 合併処理浄化槽設置事業について、当初予算に比べ、浄化槽設置件数が毎年少ないが、状況はどうか。

A 合併処理浄化槽の補助基数は当初予算では228基見込んでいたが、実績の設置要望数は214基で、その全てに補助をした。合併処理浄化槽の特定集団推進地域については、三川、宇刈、深見地区で推進している。毎年地元説明会を行い、要望を受けて設置を進めている。また、申請件数が減っている宇刈地区については今年度、アンケートを実施して状況の把握に努めている。



袋井駅南北自由通路